大分合同新聞

ワークシート　　年　　組　　名前

第40回記念大分国際車いすマラソン大会が11月21日、大分市で開かれます。大会はどんな足跡を残し、未来へつなごうとしているのか。選手や関係者の思いからたどります。

2021年11月8日付
大分合同新聞1面

OITAは「特別」

初心者も出場、広い裾野

つなぐ 第40回 大分国際車いすマラソン大会

〈①〉

銀色のヘルメットが豪快にフィニッシュラインを駆け抜けた。

57年ぶりの東京パラリンピック。最終日の9月5日朝、世界最高峰の大会を締めくくる花形競技の陸上・男子車いすマラソン（T54）を制したのは、スイスのマルセル・フグ（35）だった。

1500㍍などのトラック競技を含め、今大会で4個目の金メダルを手にした彼は、大分国際車いすマラソン大会で通算8回の優勝を誇る絶対王者だ。

東京・国立競技場で汗を拭うと、笑顔で言い切った。

「OITAは特別。必ず戻るよ」

障害や年齢に関係なく、誰もが生き生きと活躍できる。東京パラが掲げた「共生社会の実現」の理念は、40回目を迎える大分国際に脈々と流れている。

1981年に世界初の車いす単独の国際レースとして始まった大会は、残った機能を最大限に生かそうとする車いすランナーの能力を社会に示してきた。

トップアスリートに特化した祭典へと昇華したパラに対し、大分国際は初心者のランナーも受け入れる。障害が重いクラスやハーフ部門を堅持するなど、裾野の広さが「特別」とされるゆえんの一つだ。

83年の第3回大会から出場を重ね、過去14度の優勝経験があるスイスのハインツ・フライ（63）＝顔写真＝は常々、大分の意義を口にする。

「パラやメジャー大会だと強い選手ばかりが注目されるが、大分は今もなじみやすい、初期の雰囲気を持っている。一般ランナーもファミリーのように走れる」。だからこそ、トップ選手ではない自国の仲間と一緒に参加してきた。

東京パラリンピックの男子車いすマラソン（T54）で金メダルを獲得したマルセル・フグ。レース後、「OITAは特別。必ず戻るよ」と語った＝9月5日、東京・国立競技場、撮影・仲道裕司

疾走する選手と応援の市民との一体感も魅力になっている。

毎回、沿道は多くの市民で埋め尽くされ、2千人を超えるボランティアスタッフが運営を支える。国内外の選手たちが交流を心待ちにしてきた。

今年は新型コロナウイルス対策で触れ合いの機会はなくなったものの、それぞれの思いは変わらない。

大会を提唱した別府市出身の故・中村裕博士（1927～84年）の次男、英次郎（59）＝顔写真、大分市明野東、明野中央病院理事長＝は語る。

「選手と市民が一緒につくり上げてきた。大分にとって大きな財産だ」（大塩信）＝敬称略＝

× × ×

第40回記念大分国際車いすマラソン大会は21日、大分市で開かれる。大会はどんな足跡を残し、未来へつなごうとしているのか。選手や関係者の思いからたどる。（8回続き）

25面に続く

大分国際車いすマラソン大会

大分県、日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会、大分合同新聞社などの主催。新型コロナウイルスの影響で昨秋は国内選手限定の代替大会を実施したため、今年は2年ぶりの国際レースとなる。今回から新コースが採用され、マラソンは主に県道大在大分港線（通称40㍍道路）を2往復する。発着点はこれまで通り県庁前をスタート、大分市営陸上競技場にフィニッシュする。日本、スイス、米国、南アフリカの計148人がエントリー。フグ、フライらが招待選手に名を連ねている。

メモ

大会はマラソン、ハーフとも障害の程度に応じて3クラスに分かれて実施する。障害が重い順に「T51」「T33／52」「T34／53／54」。「50」台は脊髄損傷や切断など、「30」台は脳性まひなどの障害種別を示す。いずれも一の位が小さいほど程度が重い。東京パラのマラソンはT54だけで実施した。

Gateに特集ページ

大分合同新聞プレミアムオンラインGate（ゲート）は第40回記念大分国際車いすマラソン大会の特集ページを設けています。第1回大会から第39回大会に至るまでの大分合同新聞1面を公開。グーグルアースを使ったコース紹介、出場選手数や過去の記録などのグラフィックを掲載しています。QRコードから特集ページをご覧いただけます。

①見出し『OITAは「○○」』○○に入る言葉を書いてください。

特別

②なぜ、『OITAは「○○」』とされるのでしょうか。その理由を記事から探して（　　）に言葉を入れてください。

（　初心者　）のランナーを受け入れ、障害が重いクラスやハーフ部門を堅持する（　裾野　）の広い大会だから。

③「国内外の選手たちが心待ちにしてきた交流」とは、どのような交流ですか。記事から探して（　　）に言葉を入れてください。

トップアスリートや一般ランナーら（　選手　）と、沿道を埋め尽くす多くの（　市民　）、

2千人を超える（　ボランティアスタッフ　）との一体感のある交流

SDGs　③すべての人に健康と福祉を　⑩人や国の不平等をなくそう　⑪住み続けられるまちづくりを